

キリストの苦難の交わりを知り、キリストの死に同形化される

聖書：ピリピ3:7-10. ヨハネ11:25. エペソ1:19-20. コロサイ1:24

I. パウロはキリストの苦難の交わりを知ることを切望しました——ピリピ3:10：

- A. キリストにおいて、苦難と死が最初に来て、復活が続きました。わたしたちにおいて、キリストの復活の力が最初に来て、彼の苦難にあずかることと、彼の死に同形化されることが続きます——10節。
- B. わたしたちはまず、キリストの復活の力を受けます。次にこの力によって、彼の苦難にあずかり、十字架につけられた生活をして、彼の死に同形化されることができるようになります。
- C. キリストの苦難は二つの部類から成っています。贖いを成し遂げるための苦難は、キリストご自身によって完成されました。召会を生み出し建造するための苦難は、使徒たちと信者たちによって補い満たされる必要があります——コロサイ1:24：
1. わたしたちは、贖いのためのキリストの苦難にあずかることはできませんが、からだを生み出し建造するためのキリストの苦難にはあずからなければなりません——参照、啓1:9. IIテモテ2:10. IIコリント1:5-6. 4:12. 6:8-11。
  2. キリストは神の小羊として、贖いのために苦難を受けました（ヨハネ1:29）。キリストは一粒の麦として、増殖し建造するために苦難を受けました（12:24）：
    - a. 主は一粒の麦として、地に落ち、死を通して彼の魂の命を失いました。それは、彼が復活の中で彼の永遠の命を、多くの麦粒に解き放つためでした——ヨハネ10:11, 15, 17-18。
    - b. 一粒の麦は、からだを建造するのに必要とされるすべての苦難を完成しませんでした。わたしたちは多くの麦粒として、一粒の麦が苦難を受けたのと同じように、苦難を受けなければなりません——ヨハネ12:24-26：
      - (1) わたしたちも多くの麦粒として、死を通して自分の魂の命を失わなければなりません。それは、わたしたちが復活の中で永遠の命を享受するためです——25節。
      - (2) これが、彼に従うことです。そうして、わたしたちは彼に仕えて、この道を、すなわち、自分の魂の命を失って、彼の復活の中を生きる道を、彼と共に歩むようになります——26節。
      - (3) 召会が生み出され拡張する道は、人の栄光によるのではなく、十字架の死によります——20-24節。
- D. わたしたちの造り変えのためである苦難と、からだのためである苦難とは違いがあります——IIコリント3:18. ピリピ3:10. コロサイ1:24：
1. ピリピ第3章10節のパウロの言葉は、造り変えのための苦難を指しているのではありません。
  2. わたしたちがピリピ第3章10節とコロサイ第1章24節を比較するなら、パウロがピリピ第3章10節で語っていた苦難は、からだのためにキリストの苦しみの欠けたところを満たす苦難です。

3. パウロはコロサイ第1章24節において、彼自身の苦難を、キリストのからだのために、キリストの苦難の欠けているところを補い満たしていることであると考えました。
4. キリストのからだのためのキリストの苦難はなおも継続しており、わたしたちはそれにあずかる必要があります——ピリピ3:10. 参照、使徒9:4-5。
5. わたしたちは、からだのために苦難を受けるとき、キリストの復活の力を経験します——コロサイ1:24. ピリピ3:10。

**II. ピリピ第3章10節でパウロは、「彼の死に同形化されて」と語りました。この表現は、パウロがキリストの死を自分の生活の型とすることを願っていたことを示しています：**

- A. キリストを知る知識の卓越性、すべての事を損失と勘定すること、キリストを獲得すること、キリストの中に見いだされること、キリストを知ること、キリストの復活の力を知ること、キリストの苦難の交わりを知るとはすべて、一つの事、すなわち、キリストの死に同形化されるという結果になります——ピリピ3:7-10。
- B. キリストの死に同形化されることは、キリストの死が型であることを示しています——10節：
  1. ピリピ第3章の中心は、キリストの死の型に同形化されるという事柄です——7, 9, 12-16節。
  2. わたしたちは、この死の型の中へと入れられました。そして今やわたしたちは、この型に同形化される必要があります——ガラテヤ2:20. ローマ6:3-5。
  3. わたしたちの中にあるキリストの復活の命の力は、わたしたちを導き、支え、担って、キリストの死の型の中へと入れます——ヨハネ11:25. エペソ1:19-20。
- C. キリストの死の型は、キリストが絶えずご自身の人の命を死に渡して、神の命によって生きた経験を指しています——ヨハネ6:57前半：
  1. 主イエスは地上にいた時、十字架につけられた生活をしました。十字架につけられた生活をするによって、彼は神に対して生きており、神を生きました——ガラテヤ2:20. 3:1. 5:24。
  2. キリストは常に彼の人の命を死に渡して、彼の内側の神聖な命が流れ出ることができるようにしました——ヨハネ10:10後半-11, 17。
  3. 彼は生きていたとき、また死につつありました。すなわち、旧創造に対して死に、新創造の中の命を生きました。これが、ピリピ第3章10節の「彼の死」の意義です。
- D. キリストの死に同形化されることは、キリストの死をわたしたちの生活の型とすることです——10節：
  1. キリストの死は型であって、わたしたちはこの型に同形化されます。それは、練り粉が菓子の中の型の中に入れられて、それに同形化されるのと同じです。
  2. 神はわたしたちをキリストの死の型の中へと入れました。そして神は日ごとにこの型を用いて、わたしたちをこの死に同形化しつつあります——ローマ6:3-4。
  3. わたしたちの生活は、そのような型に同形化されるべきです。この型とは、人の命に対して死んで、神聖な命を生きることです——ガラテヤ2:20. II コリン

ト4:10-11。

4. わたしたちは天然の命を死に渡すなら、内側に別の命、神聖な命があるという感覚を持ちます。この命は解き放たれ、そしてわたしたちは経験においてキリストの死に同形化されます——ヨハネ10:10後半. I ヨハネ5:11-12。
  5. キリストの死の型の中で、天然の人は殺され、古い人は十字架につけられ、自己は廃棄されます——II コリント4:16. ローマ6:6. マタイ16:24。
  6. わたしたちの環境がわたしたちをこの型の中へと押し込めることを、わたしたちが許すなら、わたしたちの日常生活は、キリストの死の形の中へと鑄込まれます——ローマ8:28-29。
- E. 神の栄光を現す唯一の道は、キリストの死に同形化されることです。わたしたちはキリストの死に同形化されればされるほど、ますます御父の栄光を現します——ヨハネ12:28. 13:31。

*©2023 Living Stream Ministry*